

町長提出議案

黒潮町立大方あかつき館防水工事の請負契約の変更契約の締結

変更理由の主なものは、屋上防水を塩ビ系シートから硬化ウレタンへの変更、外壁のひび割れ補修箇所が増。

これにより、請負金額は877万円増額し、5176万円となる。 可決（多数）

Q 小松 孝年議員

内容は、100万円以内の簡単な工事が多い。それらを、町内業者を育て、雇用の場を増やす観点から、小分けして地元業者に発注出来ないか。

A 松田 副町長

出来るところは町内業者にお願いしたいということが前



変更された大方あかつき館屋上防水(中央奥側)

提だが、今回の変更は専門家が見ていく中で発見した部分も数多くあり、その区分と効率性を考えて対応した。

Q 藤本 岩義議員

変更の数が多く、その中にはこの工事前からその状態が分かっていたのではと思われるものもある。例えば、屋上の防水シートだが、子ども達が屋上でローラースケートをやるとかは、元々の設計の段階から抜けていたのか。

A 畦地 教育次長

シートについては、設計段階で詰めが甘かったと感じて

いる。工事開始後、舗装、防水の専門業者との協議で、施行面の約半分、平面部分の半分の硬化ウレタンに変更した。

Q 明神 照男議員

元の予算の2割アップは、民間の考え方では出来ないことだ。こんな変更の議案を出されたら困るのだが。

また、この塩ビとウレタンとの単価、対応年数の違いは。

A 坂本 教育長

本来、当初設計の段階で十分に調査をして細部まで検討をし、設計をすべきだが、この工事には細部の改修等もあり、工事を始めてから分かる部分も出てきたので現場と協議をし、この際の改修がベストと判断をした。

A 畦地 教育次長

単価は、塩ビ系シートが5840円/m²、ウレタンが14400円。対応年数は、把握していない。

Q 西村 将伸議員

同館は、構造上の問題が多く、建後10年程で5100万円程の補修費があるが、将来的な計画は、また、請負業者の補償期間の内容は。

A 松田 副町長

国から、今年度以降、公共施設の管理計画策定の指示もあり、全体的に施設の対応年数等を調査、検討して、管理計画の中に入れていきたい。

A 畦地 教育次長

補償年数については、業者からは10年と聞いている。

Q 森 治史議員

会議室のクロスが、廃番により普及タイプに変更となっているが、音の反響の弊害の心配はないか。

また、屋上の立て看板の追加の目的は。

A 畦地 教育次長

会議室はコンクリートのみの壁で、非常に反響していたので、

吸音タイプで設計していたが、その物の廃番で通常のクロスを選択した。反響はかなり改善すると考えている。

立て看板は、子どもたちのローラースケート等への注意喚起の看板を設置した。

討論

反対 明神 照男議員

防水シートの変更、単価の説明も分からないではないが、追加の877万円は、元の金額の2割もアップとなっているので反対だ。



ひび割れ補修も済んだ外壁部